

学ポラだより

第23号

出来る人が・出来る時に・楽しくボランティア子供達が待っています

このコーナーは児童の皆さんも家の人がいっしょに読んでください。むずかしい漢字がいっぱいありますが挑戦してください。

新しい年に

今年も残すところわずかにになりました。皆さんにとって今年は何んな年でしたか。教室での勉強はもちろん、運動会や遠足、町たんけん旅行などで、たくさんのお話を学んだことでしょうか。

友達どうしの遊びはどうでしたか。お互いの気持ちを考えながら仲良く、楽しく遊べましたか。

町の人たちとは、ちゃんとあいさつをしたり話ができたりましたか。地域の人たちは皆さんが安心して学校へ通えるように毎日いろいろなかたちで見守ってくれています。

さあ、まもなく新しい年。皆さんは、どんな年になりたいですか。今からいろいろ考えてみると楽しいですね。



特集

朗読入門パートII

前回に引き続き朗読のテクニックを紹介します。今回は「間の取り方」から解説します。

お伝えしている朗読入門は、小説やエッセイを読んで聞かせるだけでなく、絵本をはじめ紙芝居などでも使えるテクニックです。

クリスマスや正月の会をはじめ、家庭内での読み聞かせにも是非活用ください。

●間を工夫する

前号で、「間」は人間の脳が持っている生理学上の問題からとても大事だと説明しました。では、どのくらいの時間があったらいいのでしょうか。それは何と0・45秒と大変短い時間なのです。普段生活の中で、目のまばたき位の時間でしょうか。

朗読では、このわずかな時間が前後の関係を理解させるために大変重要になってきます。次の例を見てください。(話をしている時は特に気にしていないとても短いセンテンスです。)

『「」に携帯電話がある。』
当然、話している時は目の前に電話があるか自分自身で持ちながら話します。

ところが読んで聞かせようとするとうまく伝わらないことがおこってしまうのです。

それは極々小さな「間」に關係しています。それは「が」の後の時間です。話をしていいる時は、相手も電話を見ていいるわけですから、そこに実物があることは認識しています。ところが、「が」から、「ある」までを続けて読んでしまうとそこに電話があることが伝わらなくなってしまうのです。

そこで大事なのがごく小さな「間」を入れて読むことです。

『「」に携帯電話がある。』
つまり「携帯電話」の次に続く「そこにある」という關係性をはつきりさせることなのです。

●ためにもつたいぶつて

皆さんはこんな経験をしたことがあるでしょうか。友人と話をしている「実はさー」と言われた後に時間を置かれると異常に次の話を聞きたくなくなるといふこと。

とりとめのない話でも次はいつたい何が起ころのだろうと期待をさせられますよね。実は、朗読でもこのテクニック

クをうまく使うことで全体の演出を構成しているのです。前号で声に出して読む前に黙読をするという事をお伝えしました。この時に、全体の内容をつかむと同時に大きな段落に分ける作業、段落の中でも、さらに小さな段落に分かれる箇所などに分ける作業をするという説明をしました。



この段落は、場面が変わる場所として大変重要な意味を持つています。大きな段落は「起承転結」の場面転換を表し、小さな段落は、日時や場所、登場人物の気持ちの変化などを表しています。この変化をするときに使うのが中くらいから大きな「間」なのです。

時間は様々です。一秒からいときもあれば五秒以上のときもあります。その時間は場面ごとに違います。この時間の「ため」の長さで期待を大きく膨らませると同時に、あーここで場面が変わったのだなという事を理解させていくのです。

●全体にゆっくりと

さあ、これで読み聞かせや朗読をしてあげるのにパツパツリになりました。・といかない部分がある一つあります。それは読むときのスピードです。せっかく段落もきちんと分け、「間」も十分に取ってあつても読む早さが早すぎると聞き手は理解できません。読む時には、「こんなに遅くていいのかな・・・」と思うくらい全体的にゆっくり読んでください。

読み始めたなら、少しくらいの間違いは気にせず終わりで自信をもって完了してください。きつと聞き手の心に残るものになると思います。

ボランティア活動報告

今回は、十一月と十二月分をまとめて報告します。授業のサポートはもちろんのこと、環境整備の活動が多かったです。ボランティア活動に参加してくださった方、本当にありがとうございます。ご報告しました。

十一月二日

●サルビア種取り

夏から秋にかけてきれいな花を咲かせてくれたサルビアの種を来年用に取りました。(参加者) 稲垣美智代・大竹

十一月八日

●遊具ペンキ塗り

(参加者) 大坪昇作・高橋完
川邊昌一・田村久夫・
阿部雄一・馬岡清一

十一月九日

●ミシン補助

5年生の家庭科の学習支援
ミシンを使ってエプロン作り
(仕上げ)をしました。

(参加者) 中澤文子・
丸山照代・牛口てる子・
吉澤ヨシ子

十一月十日

●ミシン補助(前日と同様)

(参加者)
吉澤ヨシ子・丸山照代・
牛口てる子



十一月十日

●ジャングルジムペンキ塗り

校庭南側にあるジャングル
ジムの何年かぶりで大補修。
錆落としからペンキ塗りまで
をしました。

(参加者)

大坪昇作・馬岡清一・川邊
昌一・阿部雄一・高橋完
十一月二十四日・二十九日・
十二月十三日 随時

●図書整理

ここ数年の朝読書が定着し
たせいもあり図書の貸し出し
数も多くなっています。特に
人気の本は傷みも早く破れ等
の破損が気になっていました。
修理は補修テープを使いしつ
かりと補修しています。(修理
する本はたくさんあります。
ちよこつと来て一緒に作業し
てくださる方を募集していま
す。)

(参加者)

稲垣美智代・
星野妙子・海沢幸美・大竹
十一月二十六日

●チューリップ球根植え

春、北校舎前で色とりどりに
楽しませてくれるチューリ
ップの球根を植え付けました。

(参加者)

稲垣美智代・
井田エン・鈴木たける・
高橋君枝・星野妙子
十一月二十七日

●パンジー植え付け(緑の応援団)

花が少なくなる季節にしつ
かりと根付き冬から春にかけ
てきれいな花で心を和ませて
くれます。今回も昨年と同様
に北校舎前に植えつけました。
「緑の応援団」を始め、児童
も参加して一時間半ほどの作
業でした。

(参加者) 中沢勝・中澤るみ

登坂一彦・中澤明美・大竹・
相良・児童六名

十一月二十九日

●朝礼台のぼり棒ペンキ塗り

校庭南側にある登り棒と朝
礼台を補修しました。特に、
朝礼台については昨年から地
域の方が「こんなに錆びたら
けじゃあ先生も張り合いがな
かんべー」と気にしてくださ
っていたもので、今回新品の
ように蘇りました。



(参加者) 大坪昇作・高橋完

馬岡清一・川邊昌一・
田村久夫・阿部雄一・藤井

十一月三十日

●五年生調理教室

ボランティア講師から大根
の切り方や米の研ぎ方などを
教えてもらいました。ご飯は
ふつくら炊き上がった班と、
少し焦げてしまった班があり
ました。今回は、ミシン教室
で作ったエプロンを児童全員
が着用しました。最後は、ボ
ランティアの方と一緒に食べ
ました。(次の日も同様です)

(参加者) 中澤文子・
吉澤ヨシ子

十二月一日

●五年生調理教室

(参加者) 小林米子・
牛口てる子・丸山照代



十二月八日

●よく咲くスマイルの植え付け

南側の道路沿いと築山近くの
庭、南校舎前を合わせて二百
鉢(緑の少年団で購入)を植
えつけました。

(参加者) 井田エン・
鈴木たける・高橋君枝・大竹

十二月十六日

●三年生書写指導

三年生はふと筆が初めてでし
たがボランティア講師が書い
てきてくれた見本を見ながら
書くことにチャレンジしてい
ました。

(参加者) 高橋由美子・
角田ちよ子

十二月十七日

●四年生書写指導

(参加者) 高橋由美子・
山口有希

●ボランティア参加者からの声

・五年生調理教室に参加した
方からの声です。
・調理実習室に入って驚きま
した。生徒さん全員がミシン

の実習の時に一緒に作ったエ
プロンをしているじゃありませんか。あまりの嬉しさにホ
ロリときてしまいました。
・調理実習では、大根の切り
方やだしの取り方、ご飯の炊
き方など、当たり前のことを
一緒にやっただけなのに、生
徒さんはすぐに覚えてやって
くれました。
・最後は、出来上がったご飯
を一緒に食べる事ができて本
当に良かったです。また、ボ
ランティアに誘ってください。
※3学期は朝の読み聞かせと
図書・エプロン補修をやりま
す。一緒に活動しませんか。

学習ボランティア地域センター連絡先

沼田東小学校学習支援センター内
〒378-0053 沼田市東原新町1801-1 電話 0278-23-1118

学ボラだより 第23号 発行 平成22年12月22日

発行責任者 東小学校学習ボランティアコーディネーター
相良賢一 大竹秀子

学ボラだよりは、東小のホームページからも見る事が出来ます。